

教育目標「自ら未来を拓き 心豊かに たくましく生きる子供の育成」



遷喬小だより

TEAM 遷喬・PRIDE 遷喬 ～なかよく 明るく つよく正しく～

時・場を整える

10月の生活目標は「時・場を整える」です。時間を守ることや、身の回りの環境を整えることを大切にしながら、それぞれの学年で具体的な目標を立てて取り組んでいます。

早速、1年生の靴箱では、下履きをきちんとそろえて入れている姿を見ることができました。自分の身の回りを整えることは、気持ちよく学校生活を送るための第一歩です。一人一人の意識と行動が、みんなが気持ちよく過ごせる学校づくりにつながります。

また、生活委員会では、「ハンカチ・ちりし・ネーム・帽子」を毎日きちんと準備することを呼びかける「ハチネぼの花」の取組を行っています。各学級で決めた人数以上の児童が4つをそろえていたら、多目的ホールに掲示してある台紙に花を貼ることができます。学級のみんなで声をかけ合い、花を増やしていくことを目指しています。

「時・場を整える」ことは、自分自身を大切にするとともに、周りの人への思いやりにもつながります。ご家庭でも、毎朝の持ち物の確認など、お子様への声かけにご協力をお願いいたします。

たか



きちんとそろっている 靴箱



「ハチネぼ」の花の掲示

喬きをめざす～より高い目標をめざして～

5・6年生は、10月30日（金）に本校運動場で開催される「第44回真庭支部学童陸上記録会」に向けて、陸上運動に励んでいます。

陸上運動を通して、子供たちに大切にしてほしいことがあります。それは、自分なりの目標をもち、その目標に向かって努力する経験を積むことです。記録会では、順位や結果も気になることでしょう。しかし、それ以上に大切なのは、昨日の自分を超越しようと努力することです。0.1秒でもタイムを縮めよう、1cmでも遠くへ跳ぼう、あるいは高く跳ぼうと、少しでも記録を伸ばすために工夫し、粘り強く挑戦する姿勢を身につけてほしいと願っています。

「遷喬」という言葉には、「より高い目標をめざす」という意味が込められています。目標

をもち、努力を重ね、自分の可能性を広げていくことは、陸上運動だけでなく、これからの学校生活や人生にもつながる大切な力です。

記録会当日、子供たちが自分の目標に向かって全力で挑戦する姿を楽しみにしています。



福祉学習～3年生～

3年生は、社会福祉協議会の方をゲストティーチャーにお迎えし、福祉について学習しました。点字の学習では、点字の仕組みや読み方について教えていただき、実際に点字を打つ体験をしました。一つ一つの点の位置を確かめながら、文字を表すことの難しさを感じるとともに、点字が目の不自由な方にとって大切な情報を伝える手段であることを学びました。また、目隠しをして歩く「ブラインドウォーク」にも挑戦しました。見えない状態で歩くことの難しさや怖さを体験するとともに、目の不自由な方をどのように補助すればよいのか、正しい支援の仕方について学びました。

今回の学習を通して、相手の立場になって考えることの大切さに気付いた子供たち。誰もが安心して生活できる社会をつくるために、自分にできることを考えるきっかけになればと思います。



旧遷喬小学校

10月11日(月)に旧遷喬小学校で開かれたイベント「旧遷日和」に遷喬小児童が書いた「将来の自分 将来の久世」が展示され、多く方に見ていただきました。旧遷喬小学校に11月2日(月)まで引き続き展示されます。よかったら見に行ってください。



表彰紹介

第16回税に関する絵はがきコンクール(6年生対象)

税務署長賞 植田葵音 優秀賞 清水はな
租税教育推進優秀校賞 遷喬小6年生